

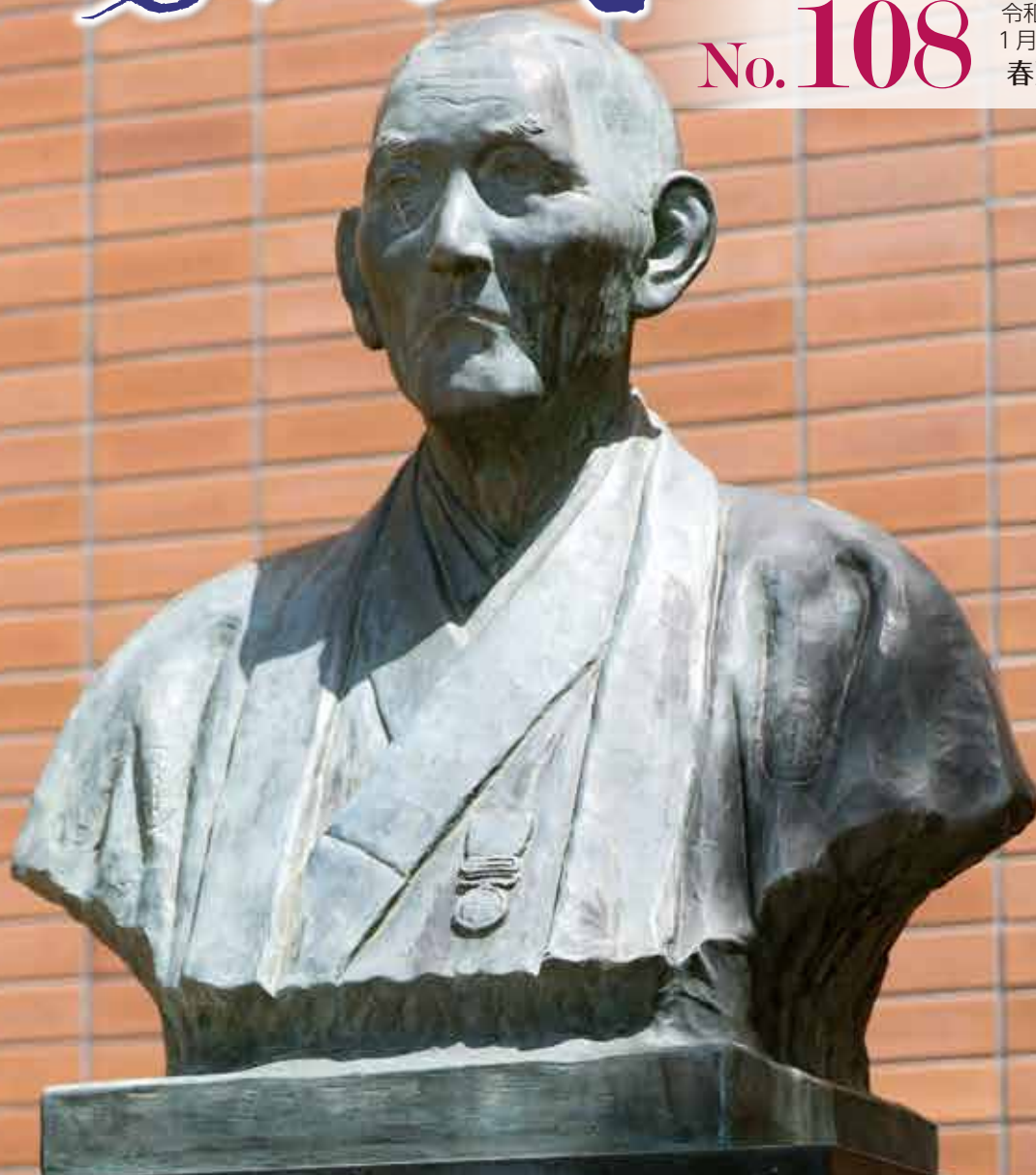


陽風園だより

No. 108

令和5年
1月発行
春夏秋

冬



■ もくじ

P2 みずきこども園分園

「おひさまとかぜ」が開園します

P4 各施設近況報告

P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに

令和5年4月 みずきこども園分園 「おひさと



令和3年度から本園向かいで建築工事を進めてまいりました、みずきこども園分園の新築工事が令和4年11月に無事に竣工することができました。工事期間中、近隣の方々や関係者の皆様には、多大なる御理解と御協力をいただきましてありがとうございました。

あたたかいお陽さまが差し込み爽やかな風が流れる、木のぬくもりを感じるあたたかみのある保育室で子ども達の心と身体を育みます。

分園「おひさとかぜ」では、育児休業明けの途中入園を希望される保護者やお子様には選ばれる施設として優しく丁寧な対応を心がけ、地域の子育てを支える施設として成長していきたいと思っています。

テラス



道路沿いに隣接するテラスはフェンスまで続くウッドデッキとなります。雨天の日にも風や陽の温かさを感じながら遊ぶことができます。



玄関は外からの光がたっぷりと入り込み、とても明るくなっています。奥には、あそびのおへやが広がります。

玄関



「かぜ」が開園します



みずきの幹線道路沿いに建築されました。
大通りからも駐車場に入りやすくなっています。玄関はガラス張りになっていて、
皆さんに見守ってもらえる環境となっています。



あそびの おへや

あそびのおへやも太陽の光がたっぷりと降り注ぐ空間です。ぽかぽか温かい日差しが長く続きます。
ウッドデッキへは一面窓ガラスで続いています。あそびのおへやとウッドデッキを繋げると、
とても広い空間となります。



こどもの おへや



こどものおへやは2部屋あります。
木のぬくもり溢れる保育室では、様々な月齢と
発達に合わせてゆったりと過ごすことができます。



乳児用トイレはグリーン
を基調とした森のイメージ。
落ち着いた空間になってい
ます。

乳児用 トイレ



養護老人ホーム 向陽苑 崎浦

季 節の移りを感じられるよう、秋のドライブや秋まつりを開催しました。

秋のドライブでは、卯辰山や大乘寺へ。気温が低く寒い日となりましたが、外の澄んだ空気、高台からの金沢市内の絶景を眺めながらのティータイムは気持ちよく、参加された方は寒さを忘れて楽しませていました。

また、今回の秋まつりは二日間に分けて開催しました。一日目は前夜祭として室内での魚釣りゲーム、ボール倒しなどを楽しんでもらい、二日目は園内中庭を開放し、秋晴れの中、久しぶりの外での食事に多くの方の笑顔が溢れていました。最後は恒例の職員による“よさこい”を披露し、大盛況の秋まつりとなりました。

12月7日(水)には、とら年最後の行事「年忘れ会」も行うことができました。

お寿司屋さんのお寿司を堪能したあと、全員で“いきいき体操”で体をほぐし、じゃんけん列車ゲーム、玉送りゲームを楽しみました。職員の余興では髭ダンスを披露し、プロ顔負けの大道芸(?)に大拍手、大爆笑(?)となりました。

コロナ禍での窮屈な日々を少しでも楽しく過ごしていただけるよう、うさぎ年にちなんで、今年こそは飛び跳ねるほど楽しい一年でありますように。



養護老人ホーム 向陽苑 木曳野

「開設10周年記念行事」

施 設開設10周年の記念式典を行いました。記念タオルを贈呈し、昼食は海鮮ちらし丼をご用意。午後にはキッチンカーをお呼びして、ドリンクやたこ焼きを楽しみ、皆さんでお祝いする特別な1日となりました。

「衣類品販売会」

初 の試みとして、衣類品販売会を行いました。実際に手に取って選ぶことができ、試着をして自分好みの衣類を購入する機会となりました。季節の変わり目に、自分で選んだ暖かい衣類を購入され大変喜ばれていました。

「10周年記念スタンプラリー」

施 設内のどこかに隠れている文字を探し出してスタンプを集めるスタンプラリーを企画しました。

毎日のラジオ体操のあとに施設内を歩いて探し、すべて集めると“祝10周年向陽苑木曳野”の文字が揃います。

参加日数に合わせて景品をご用意し、多くの方に参加していただきました。

今後も、楽しいひとときを感じてもらえるような行事の企画や、日々のかかわりを大切にしていきます。



特別養護老人ホーム 万陽苑

第37回社会福祉施設利用者余技展覧会に当苑から出展した作品が見事「県知事賞」を受賞しました。

感染対策でフロア間の交流を控えているため、各フロア持ち回りでの作品作りとなりましたが、皆の気持ちを一つにした結果、大きなご褒美をいただきました。

展覧会に足を運ぶことはできませんでしたが、作品が施設に戻ってから、巡回展示を行い、作品作りに携わった利用者様には、表彰状授与式にてお祝いさせていただきました。



特別養護老人ホーム 第二万陽苑

『2階 食堂ホール』 ついに完成！

8月から取り掛かっていた工事を終え、12月に『2階 食堂ホール』が完成いたしました。今まで2階の利用者様は、1階にある大食堂にてお食事をされていましたが、これからは新設した食堂ホールでお食事をしていただくことになります。

食事フロアを分けることで、新型コロナウイルス等感染症の予防にもなります。また、一人ひとりの間隔も広がったことによって、快適な環境の中でお食事をしていただくことができます。

明るい空間で、笑顔でお食事ができるようお手伝いしてきたいと思います。



特別養護老人ホーム 第三万陽苑

12月14日(水) 年忘れ会を開催しました。利用者の皆様がそろっての行事開催が難しい中、何か楽しんでいただけることはないかと検討を重ね、今年は握りたてのお寿司を食べていただくこととなりました。

金沢市涌波にある「すし捨」様を施設へお招きし、利用者の皆様に見える場所で握っていただきました。職人さんがお寿司を握り始めると利用者の皆様から歓声が沸き、その流れるような手さばきに惹き付けられた様子でした。当日の特別献立は、握り寿司とちらし寿司の選択のほか、すまし汁、ほうれん草の柚子香和え。デザートは、あけぼの作業所の特製ケーキ。今か今かと待ちわびた利用者の皆様は、寿司桶の中にきれいに並んだお寿司が目の前に来ると、はちきれんばかりの笑顔を見せてくださいました。またいつもより箸の進むスピードが早く、普段小食の方でもあっという間に召し上がっていたことがとても印象的でした。



陽風園地域福祉プラザ

陽風園デイサービスセンター、木越デイサービスセンターでは、地域の皆様楽しんでいただけるよう四季折々の様々な企画を実施しています。

陽風園デイサービスセンターでは、10月に「ミス陽風園花嫁コンテスト」を行いました。華やかな花嫁衣裳に身を包んだ職員に皆さんくぎ付けでした。

11月には、「あゆみ保育園児とのオンライン交流会」を行い、リズム体操や腸内環境、食育についての紙芝居を園児たちと一緒に楽しみました。

12月のメインイベントといえば、クリスマス！木越デイサービスセンターでは、「クリスマスアレンジメント教室」を開催。1人1人違うマグカップにカラフルな小物を自由に飾って、真っ赤なガーベラを一輪さすと、一気にクリスマスらしさが出て可愛いですよね。オリジナルの作品に笑顔がこぼれました。また、今年も皆さんと一緒にクリスマスケーキを作りました。四つのチームに分かれて、水色、緑、ピンクの生クリーム、フルーツをデコレーション。みんな真剣です！チームの個性が光る素敵なケーキが出来上がりました。

今後も皆様楽しんでいただけるよう趣向を凝らした企画を考えていきたいと思います。



救護施設 三陽ホーム

12月14日(水) 年忘れ会を行いました。

軽快なクリスマスの曲が流れ、ちょっと早いクリスマス気分を味わいながら、午前中に千歳寮を皮切りにビンゴゲームを行い、昼食はお刺身を堪能しました。この時期のお魚は最高ですね。「おいしかったよ！」という声がたくさん聞かれました。

そして午後からは楠寮、桂寮の順でビンゴゲームをしました。カラオケ機器に内蔵されたビンゴゲームを利用し、当たりの数字が出るまでの効果音で否が応にも盛り上がりを見せます。画面に映し出される数字と手元のカードを真剣な眼差しでにらめっこ。「リーチ」の音がちらほら出始め、ついに「ビンゴ!!」の音が。

見事ビンゴされた方、各寮ごと先着5名に、皆さんのだあい好きなカップメンとコーヒーが手渡され、惜しくも外れた方には、参加賞として来年のカレンダーとマスク1箱が贈られました。



障害者支援施設 ハビリポート若葉・若竹

寒さも厳しくなり、ポインセチアがあちらこちらで目につきはじめて12月7日(水)、恒例の年忘れ会が行われました。

暖かな室内にて皆さま揃って年賀状作りに取り組み、ご家族に送る方、ご自身に向けて新年の抱負を書かれる方など、それぞれに楽しめました。

職員による気合が入った余興は、どじょうすくいのお熱演とサンタクロースたちの大合唱。想像以上に本格的な演技を見て「仮装している職員は誰なの」と歓声が沸き起こっていました。

スペシャルゲストには、一足早く干支のうさぎが登場し、皆さまで写真撮影。マスクの隙間から笑顔が溢れていましたね。皆さまの感染症対策のご理解・ご協力のおかげで大きな混乱もなく過ごせています。新年も素晴らしい年となりますように。



就労継続支援B型 あけぼの作業所

コロナ禍が依然として続き、施設の旅行行事が実施できなくなってから早くも3年が経とうとしています。

しかし、利用者の皆様からは、今年こそは旅行に行きたいというお声を毎年いただきます。

そこで、今年は旅行に出かけたような気分を味わっていただくためにどんな試みができるだろうかと職員一同で知恵を絞り、下記の試みを行いました。

密な状況避けるためにグループ分けを行った上で、外部にお弁当を発注し、別室で黒部溪谷トロッコ列車の映像をモニターで流しながら食べていただくーその名も『行楽弁当インあけぼの』。

少しでも旅行に行った気分を味わってもらうため、いつもと異なる環境で、いつもと異なる食事を提供したところ、利用者の皆様からは…「おいしい!」「いつもと違って楽しい」とのお言葉と笑顔がたくさんいただきました。

今後も、現状の中であっても、いかに利用者の皆様に喜んでいただける状況を提供できるかを模索していききたいと思います。



感謝録

10月～12月

◆ ボランティアの部

- ほたるの会 代表 藤原光恵
- 北陸学院大学短期大学部 収穫感謝祭

◆ 寄付物品の部

- 浦 喜与司 ● 中嶋 武司 ● 宮田のり子
- ササユリ編物サークル 赤田昭乃

◆ 寄付金の部

- 林 勇三 ● 吉田 耕作 ● 匿名10名
- JA石川県女性組織協議会
- 菊川社会福祉協議会 代表 山二光三
- 令和4年度北國愛のほほえみ基金
(社会福祉法人 北國新聞厚生文化事業団)

ご厚意ありがとうございました。

◎ 施設開放〈本園研修室等〉

三ツ口新町東町会 三ツ口新町東町会Mサロン
三ツ口新町東町会婦人部

◎ 実習・体験

介護実習Ⅰ②(専門学校アリス学園) (万陽2名)
介護実習第二段階(金沢福祉専門学校)
(万陽2名、プラザ1名)
介護実習Ⅱ(専門学校アリス学園) (第二2名)
介護実習(専門学校アリス学園) (第三2名)
在宅看護論実習(金沢医療センター附属金沢看護学校)
(プラザ6名)
地域看護総合実習(金沢大学4年生) (プラザ2名)
地域看護基礎実習(金沢大学2年生) (プラザ87名)
栄養士実習(北陸学院大学) (ハビリ2名)
介護等体験(北陸学院大学) (あけぼの1名)
施設利用体験 (あけぼの1名)
職場実習(いしかわ特別支援学校) (あけぼの1名)
保育実習Ⅱ(石川県立保育専門学園) (みずき1名)

◎ 社会貢献活動

崎浦クリーン作戦 (本園)
南小立野小学校ふれ愛りサイクル (本園)
内川地区リサイクル活動 (第三・ハビリ)
内川スクールサポート隊 (第三・ハビリ)

volunteer message board ボランティア 掲示板



ササユリ編物サークル



JA石川県女性組織協議会 お米券贈呈

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染予防対策につきまして、陽風園の対応や各施設の対応状況は、別途ホームページ(<https://www.yofuen.com/>)で公表させていただいておりますので、そちらをご確認ください。

